## 令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

| <b>分野</b> 演劇 | 種目 | 児童劇 |
|--------------|----|-----|
|--------------|----|-----|

申請区分(申請する区分を選択してください。)

| 申請区分 | A区分とB区分の両方 |
|------|------------|
|------|------------|

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

| 複数申請の有無 | 無 | 申請総企画数 |  |
|---------|---|--------|--|
|---------|---|--------|--|

## 複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

| 複数の企画が採択された | _ |
|-------------|---|
| 場合の実施体制     |   |

## 芸術文化団体の概要

| ふりがな                    | ゆうげんがいしゃ  | っひとみざ    |             | 団体ウェブサイトURL                                |  |  |  |
|-------------------------|---|----------|-------------|--|--|--|--|
| 制作団体名                   | 有限会社ひ   | とみ座      |             | https://hitomiza.com/                      |  |  |  |
| 代表者職•氏名                 | 代表取締役 倉 正人  |          |             |  |  |  |  |
| that the last the last  | <b>〒</b> 211−0035                                   | 最寄       | り駅(バス停)     | 東急東横線元住吉駅                                  |  |  |  |
| 制作団体所在地                 | 神奈川県川崎市中原区井   | 田3-10-31 |             |  |  |  |  |
| 電話番号                    | 044-777-2225  |          |             |  |  |  |  |
| ふりがな                    | にんぎょうげきだん   | んひとみざ    |             | 団体ウェブサイトURL                                |  |  |  |
| 公演団体名                   | 人形劇団ひ   | とみ座      |             | https://hitomiza.com/                      |  |  |  |
| 代表者職•氏名                 | 劇団代表 中村 孝男  |          |             |  |  |  |  |
| as being the opening to | 〒 211-0035 最寄り駅(バ                                   |          |             | 東急東横線元住吉駅                                  |  |  |  |
| 公演団体所在地                 | 神奈川県川崎市中原区井田3-10-31                                 |          |             |  |  |  |  |
| 制作団体 設立年月               |   | 19       | 64年 10月     |  |  |  |  |
|                         | 役職員   |          | 団体          | 構成員及び加入条件等                                 |  |  |  |
| 制作団体組織                  | 代表取締役 倉正人<br>取締役 中村孝男・田坂晴<br>行・石川哲次<br>監査 税理士法人昴星(岩 |          |             | 員 計58名<br>嘱託6名、研究生5名、団友8名<br>ひとみ座養成所を卒業後入団 |  |  |  |
| 事務体制<br>(専任担当者の有無)      | 専任の事務担当者を置く   | 本事業      | 担当者名        | 石川 哲次                                      |  |  |  |
| 経理処理等の<br>監査担当の有無       | 有   | 経理責      | <b>賃任者名</b> | 宇野 かよ                                      |  |  |  |

| 制作団体沿革          | 1948年「劇団ひとみ座」を鎌倉市で創立、翌年「人形劇団ひとみ座」に名称変更をする。小学校の芸術鑑賞教室、幼稚園・保育園での鑑賞会、全国ホールでのツアーなど、人形劇の専門劇団としての活動を展開する。<br>川崎市に本拠地を移し、1964年に「有限会社ひとみ座」を設立。同年、NHKテレビ人形劇「ひょっこりひょうたん島」が放映開始、人形美術・製作・操演の全てを担当する。1983年に神奈川県文化賞と川崎市文化賞を受賞。他これまで作品での受賞多数。<br>2005年より日生劇場プロデュースの人形劇ミュージカルに、出演・人形美術及び製作で参加。これまで14作品の公演に関わり、2022年度は「エリサと白鳥の王子たち」に参加、日生劇場を含む全国4カ所での公演を実施する。<br>2018年度~2019年度には、「まっぷたつの子爵」県民共済みらいホール公演、「どろろ」川崎市アートセンター公演、「みつあみの神様」シアターグリーン公演を創立70周年記念事業として実施した。2020年度より本事業B区分団体、及び文化庁舞台芸術創造活動活性化事業の複数年計画支援団体として採択継続中(3年間)。 |   |  |  |  |  |  |  |
|-----------------|--|---|--|--|--|--|--|--|
| 学校等における<br>公演実績 | 首都圏を中心に全国の小学校での巡回公演を、創立を制作・公演する。例年200~300回の公演を実施し2021年度は、学校独自の事業に加えて、各市町村の旨とする日本児童青少年演劇協会主催による事業に全を期して、同様の活動を継続している。 ~2019年度学校公演実績(本事業を除く)~「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」 71校92公グ「岸辺のヤービ」 34校43公演「9月0日大冒険」 24校32公演「ダッコケ時間漂流記」他 40校57公演  | ている。<br>の教育委員会等主催による事業、僻地支援を趣<br>も参加した。コロナ禍においても、感染防止に万                                     |  |  |  |  |  |  |
| 特別支援学校等における公演実績 | 徒歩圏内に川崎市立中原養護学校があり、公演実績はもちろん、劇団訪問(町探検・職場体験等)やワークショップなどを含めた日常的な交流を実施している。 他、川崎市立田島養護学校、川崎市立川崎養護学校など、主に神奈川県内の養護学校で多数の実績を持つ。障害の度合いに応じたプログラムを企画して対応する。 令和元年度文化芸術による子供育成総合事業では、栃木県立足利中央特別支援学校で公演を実施、対面を含む準備や打ち合わせを行い、実情に応じたプログラムを実践した。  |   |  |  |  |  |  |  |
|                 | 申請する演目のWEB公開資料   | 有   |  |  |  |  |  |  |
| 参考資料の有無         | ※公開資料有の場合URL   | https://www.youtube.com/watch?v=ftCRE<br>6Fe7Qw&list=PLzI2vTx41weWdHgQZm6IR<br>ephs68ujr8sy |  |  |  |  |  |  |
|                 | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび<br>パスワード  | ID:         なし           PW:         なし   |  |  |  |  |  |  |

| 公演・ワークショップの  | 内容   |              |             |      | I  | 公演団体名                 | 人形劇団ひ                | とみ座         | ]           |  |
|--|--|--------------|-------------|------|----|-----------------------|----------------------|-------------|-------------|--|
|  | 小学生  | (低学年)        |             | (    | )  |                       |                      |             |             |  |
| 対象   | 小学生  | (中学年)        |             | (    | )  |                       |                      |             |             |  |
| A) ØK  | 小学生  | (高学年)        |             | (    | )  | J                     |                      |             |             |  |
|  | 中  | 学生           |             |      | -  |                       |                      |             |             |  |
| 企画名  |  | 人形劇『9月0日大冒険』 |             |      |    |                       |                      |             |             |  |
| 本公演演目  | 人形劇『9月0日大冒   | 形劇[9月0日大冒険]  |             |      |    |                       |                      |             |             |  |
| 原作/作曲<br>脚本<br>演出/振付                                   | 原作/さとうまきこ『9<br>脚本/大西弘記(TC<br>音楽/庄子智一   | KYOハンバ       | (一グ) 演      | 出/中村 |    | 術/小川ちひろ<br>f次 制作/石井セリ |                      | 演時間         | 100 分       |  |
| 著作権、上演権利等  | 各種上演権、使用権<br>否   | 等の許諾引        | 手続きの要       | 該当   | あり | 該当コンテンツ名              | <b>[9</b> ]          | 月0日大        | 冒険』原作       |  |
| 許諾状況   | 該当事項がある場合  | 権利者名         | さ           | とうまき | 2  | 許諾確認状況                | 使用                   | ](上演)       | 許諾取付済       |  |
| 演目概要   | 本作は、児童文学「9月0日大冒険」(さとうまきこ作)の人形劇作品です。小学生3人の友情と冒険を描いた本作品を、2019年度より全国の小学校や公立文化施設にて巡演しています。 ~相手への興味から生まれる本当の人間関係~ 教育プログラムにおいて共生社会の実現が強く意識されるようになりました。一方で、児童の悩みの上位には依然として「人間関係」が挙げられ続け、「自分とは違う相手を理解して受け入れること」すなわち「共生の理念」を児童が理解実践することは、決して簡単なことではありません。この作品は、お互いをほとんど知らない3人の小学生が、冒険を通して友情を育くむ過程を描いたものです。表面上の言動だけを根拠に相手をレッテルで捉えていた3人が、相手の言葉や行動の根拠となっている価値観や感情を想像することで、初めてお互いを理解して興味を持ち、本当の友人になっていく過程を描いています。まさにそれは人間関係の基本であり、児童が未来の社会で形成する共生社会の基本でもあります。 ~協力しなが6困難を乗り越える過程をのものが『大冒険』~ 児童の日常では、新しい課題への挑戦が連続します。学習から人間性の形成、人間関係の構築に至るまで、とても一人では背負いされない無数の壁を、友人と協力しながら一一つ乗り越えなくてはなりません。作中で主人公たちは、3人の長所を出し合い短所を補い合うことで、一つ一つ困難を乗り越えていきます。その挑戦は、間違いなくその後の人生の大きな支えとなる経験であり、まさにそれは「冒険」と言うに相応しい行為です。作中に登場する名台詞『君だけの特別な一日、さあ冒険に出かけよう』に込められたメッセージを、観劇を通して児童と共有しながら、「仲間と共に諦めず挑戦をすることの素晴らしさ」を伝えていきます。 |              |             |      |    |                       |                      |             |             |  |
| 演目選択理由   | 本作は、令和元年度に文化庁舞台芸術創造活動活性化事業の年間活動支援に採択されて制作した作品で、その後全国各校より上演依頼を受けている、人形劇団ひとみ座の小学生向け作品です。その高評価の根拠の一つは、「子供同士の素朴な人間関係」を描いた本作のテーマです。この物語は、お互いを全く理解していないクラスメイトの3人が、お互いを理解することで少しずつ友情を育む過程を描いたものです。 小学生のスマートフォン所有率は50%に及び(令和元年度総務省調査)、児童は早くからSNSでの人間関係に触れています。そこでは同一の意見を持つ者同士が簡単に集まれる一方、「違う意見を持つ者同士がその相違点を認め合い乗り越える」という本当の人間関係力の基礎が育まれません。「国際化」「社会包摂」「ダイバーシティ」など、現在進行形で世界の進歩に向けて話し合われているテーマはいくつもありますが、そのほとんどを解決するために必要な能力こそ『異文化コミュニケーションカ』です。密な空間で児童同士が触れ合う機会が奪われている現状だからこそ、人間関係構築や友人関係の素晴らしさをテーマとして扱っている本作は、本事業に非常に相応しい作品だと考えています。  |              |             |      |    |                       |                      |             |             |  |
| 児童・生徒の共演、<br>参加又は体験の形態                                 | 児童は、複数人数で1体の人形(恐竜)を操ります。劇中に登場する恐竜の生きていた時代がシチュエーションです。<br>複数人数で1体の人形を操るためには、児童同士が息遣いをお互いに感じながら動く必要があり、無言のコミュニケーションが求められます。これは、日本の伝統的な文楽の遣いと同じ発想です。ストーリー上のテーマと、共演でのテーマをどちらも『コミュニケーション』とすることで、共演と観劇の相乗効果を高めていきます。<br>また、ワークショップで児童オリジナルの「新種恐竜」を作り、それを共演時に登場させることで、児童の興味関心や主体性を誘発していきます。尚、恐竜の人形は、全て当劇団より持ち込みます。他にも、終演後の児童から出演者への質問コーナー、舞台の裏側を覗くバックステージツアーなども積極的に提案していきます。  |              |             |      |    |                       |                      |             |             |  |
| 出演者  | 堀沢純役…照屋七瀬<br>白鳥理子役…佐伯左京<br>中井明役…森下勝史<br>堀沢響子役…篠崎亜紀<br>堀沢真役…齋藤俊輔<br>他…末永快·金子優子·龍蛇俊明·松本美里  |              |             |      |    |                       |                      |             |             |  |
| 本公演<br>従事予定者数<br>(1公演あたり)<br>※ドライバー等<br>訪問する業者人数含<br>む | 出演者:   | : 1          | 名<br>名<br>名 |      |    | 運搬                    | 積載量:<br>車 長:<br>台 数: | 2<br>7<br>1 | t<br>m<br>台 |  |

| 本公演                | Ī                     | 前日仕込み   | k.  | 無   | 前日仕込み所要     | 時間         |          |    | 時間  | 程度 |
|--------------------|-----------------------|---------|---|-----|-------------|------------|----------|----|-----|----|
| 会場設営の所要時           | 到                     | 着       |   | 仕込み | 上演          | 内休憩        | 撤去       |    | 退   | Щ  |
| (タイムスケジュール)<br>の目安 |                       |         | 8時30分~11時30分<br>→(共演リハーサル)<br>11時30分~12時10分 |     | 13時~14時40分  | 10分        | 15時~17時  |    | 17時 |    |
|                    |                       | ※本公演時間の |   |     | 目安は、午後、概ね2m | 寺限分程度      | です。      |    |     |    |
| 本公演                |                       | 6.      | 月   | 7月  | 8月          | 9月         |          | 10 | 10月 |    |
| 実施可能日数目            | <b>目安</b> 10日         |         | 0日  | 0日  | 15日         |            | 10日      |    |     |    |
| ※実施可能時期について        | 计 超却选                 | 11      | 月   | 12月 | 1月          | 함 65 E     |          |    |     |    |
| 定後に確認します。(大幅な変更は   |                       | 5       | 日   | 15日 | 10日         | р          | 司<br>(60 |    | П   |    |
| められません)            | ※平日の実施可能日数目安をご記載ください。 |         |   |     |             |            |          | -  |     |    |
| 児童・生徒の             |                       |         | <del></del>                                 | 公演  | 共演人数目       | 演人数目安 100名 |          |    | ·   |    |
| 参加可能人数             |                       |         | <b>4</b> 0                                  | 公供  | 鑑賞人数目       | 安 500名     |          |    |     |    |



(図1)体育館フロアに舞台を設置した状態。 舞台設置に必要な大きさ、間口10m×奥行7m×高さ4m



(図2) 舞台を横からみた図。舞台は体育館のステージ上ではなく、フロアに設置します。

## 【「9月0日大冒険」上演の様子】

公演に係るビジュア ルイメージ (舞台の規模や演出や がわかる写真)

※採択決定後、採 択団体へ図面等詳 細の提出をお願い します。



(図3)夏休み最後の日の深夜、小学校四年生の純が、日めくりカレンダーをめくると、「9月0日」の日付が。



(図4)気が付くと窓の外にはジャングルが広がっていた。冒険の準備を整え「9月0日」の世界に飛び出す純。



(図5)「9月0日」の世界で純と同じように、つまらない夏休みを過ごしたクラスメイトの理子と明に出会う。



(図6)三人が進んだ先には、見たこともない自然と生き物。そこは、恐竜が生きる白亜紀の世界だった。



(図7)過酷な自然の中で、火をおこし、 魚を捕り、恐竜を追い払い。三人は時 にぶつかり合いながらも力を合わせて、 大冒険に挑んでいく。



(図8)洞窟で眠ったはずの純が目を覚ますと、いつもの自分の部屋。慌てて学校に向かうと、自分と同じように日焼けした理子と明の姿があった。三人は、かけがえのない友人になっていた。

|                         |   | 【公演団体名  | 人形劇団ひとみ座  | ]                     |  |  |  |  |
|-------------------------|---|---|---|-----------------------|--|--|--|--|
| 児童・生徒の<br>参加可能人数        | ワークショップ   | 参加人数目安  | 100名  |                       |  |  |  |  |
| ワークショップ<br>実施形態及び内容     | 標準:90分(小学校の2時限分) 児童は複数人で1体の人形(恐竜)を操ります。普段私達はどうやって「立つ」「座る」「歩く」などの行動をしているのかを改めて確認しながら、さらに「恐竜ならどう動くのか」に発想を広げていきます。実際に動くときは、お互いの呼吸を感じ取り、タイミングをとることを意識します。 ①共演内容の説明講師が人形劇町9月0日大冒険』全体、及び共演する場面の説明をします。児童が設定を理解して、恐竜の人形を遣う準備をします。 ~共演場面の概要~ 時代は白亜紀。陸にも空にも様々な恐竜が暮らしている。その中で見たこともない新種の恐竜が現れる。注目が集まる中、やがて新種恐竜は卵を産み、卵から赤ちゃん恐竜が次々と誕生する。 ②グループ毎に分かれて、恐竜人形の遣い方を習得恐竜人形1体を3~5名で遣います。児童は遭う人形ごとにグループに分かれて、人形の遣い方や呼吸の合わせ方を体験します。 〈休憩〉 ③オリジナルの恐竜を創り出す 児童の自由な発想で、作中登場する新種の恐竜をオリジナルで考えます。名前・特徴・鳴き声などをみんなで考えて、一切装飾のない白地の恐竜人形に目鼻などを加えて、新種恐竜を完成させます。 ④共演部分の練習 共演部分を最初から最後まで通しで練習します。 |   |   |                       |  |  |  |  |
| ワークショップの<br>ねらい         | かし、それはお互いが段取りをやしぐさからその意志を感じ合遣いやすいよう簡素に動かせです。本ワークショップを通して多様な得意分野を持つ児園人形劇鑑賞では、人形を遣う作」などの要素は非常に重要  | 葉を使って指揮をとれて決めて動いているだけらことで、コミュニケーシるものですが、その遣して、「言葉に頼らず、息きを <b>全員が活躍できる機</b> 非優の「演技」に注目がです。本ワークショップを取り入れています。 | ま、複数児童で1体の人形を遣うことは簡単であり、演劇の本質ではありません。お互クロンのキャッチボールが生まれます。人形かの本質は日本の伝統的人形遣いと全くを感じて、気持ちを合わせる体験」を創出し | いの呼吸は児童を発見します。        |  |  |  |  |
| その他ワークショップに<br>関する特記事項等 | の人形を遣って一旦退場したチームに劇団の出演者も交じ<br>一参加児童数が多い場合<br>参加児童数が多い場合は、恐を遣う役割を児童に割り振るこ<br>〇特別支援学校等で実施する   | 後、プテラノドンの人形<br>るなど、少人数ならでに<br>全竜人形を遣う役割の他<br>とで、参加全児童が共<br>5場合<br>簡単な打楽器の演奏/                                | はに、オリジナル新種恐竜の卵や赤ちゃんの<br>演にしっかりと参加出来るための工夫を施<br>ペートを加えるなど、実施校の事情に応じて                               | 形を遣う<br>の人形など<br>します。 |  |  |  |  |